長編漫画物語⑧

HONEY-BEE's ADVENTURES.

松本 晟 著

「長篇漫画」新人王

蜜蜂の冒険

ADVENTURE OF BEE

松本晟

ひろいひろい野原のまん中にある一本のぼだいじゅ

ごらんなさいその木のえだにあるかわいい密蜂のおしろを……

このお話はこのなかからはじまります。

密蜂ハニイーのおうちでは……
ハニイーおまえはきょうからみつをとりにいくんだよ……

とちゅうのくものすにきをつけてね
ハイおかあさん

夕方にはかならずかえってくるんですよ

ハニイはこのおうちにはいる時のあいことばをしっているね
エリカの花とボダイジュの花でしょ

さあげんきでいっておいで
いってまいりまーす

はじめて外にでるかとおもうと、なんだかむねがどきどきするよ

ウワーッ
きれいだなあ
青い空…白い雲…じめじめしたうちの中よりずっとすばらしいぞ!
どうですこんなにうまくとべるんですよ
かわいいミツばちくんしっかりやりたまえ
ありがとうチョウのおじさん
フウつかれちゃった
ここでやすんでいこう
だれだいおれの家にかってにとまるのは
ヒャーおどろいた

ぼくがこの花を一ばんさきにみつけたんだ。ぼくはここの主人なんだぞ

この花が、ほしければ、うでずくで、とってみろ!
ムッ!

あなたはだれですか?
フン、ぼくはハエのプックさ

ぼくは蜜蜂のハニイですさあ、剣をぬいて、男らしくたたかいましょう

なに?剣だって!!

さあどうしたんです
アワワワこりゃあいけない

ハエのぼくには剣がないから、とてもあなたにはかないません。この花はさしあげます

もういいよぼくは、ほかの花をさがすから

ああおどろいた

つまらないことですっかりしごとがおくれちゃったぞ

オヤ？きゅうにくらくなってきたぞ
もう夜になるのかな

アハハハ雨がふってくるのさ
エッ？

それじゃぼくはどうすればいいんですか？
あわてることはないよこんな時には花の中にはいるんだよ‥

もうじき雨がふってくるよ。はやくおはいり…
ちょっとまってください

あなたはだれですか？
ぼくかねアブのバックルっていうんだよハハハ

ゴロゴロゴロゴロ

あっいけないもうふってきたようだ
はやくなかへはいろう

あの花がいいや

ヤレヤレ
もうすこしで雨にたたきおとされるところだったぞ
!!
道をあけろクルトさまのおとおりだ!
あけないやつはけっとばすぞ!
道をあけろ!
ジャブジャブ
だれもあなたのじゃまなどしていませんよ
なんだって!
ハテ声はすれどもすがたはみえず…
きみはどこにいるんじゃね
あなたの上にある花の中ですよ
なるほど声のぬしは、かわいい密蜂くんだね

ぼくは密蜂のハニイです
イヤわがはいはかぶと虫のクルトじゃよ、ワハハ

およそ虫の中でわがはいにかなうものはおらんよ

なにごとがおこってもあわてないそのおちついた勇気は…!?…
キャッ!!
ズボ

ウアーッよそみをしているからとうとうおっこっちゃった

ウワーァキャーイ
たすけてくれおれは死んじまうよオ
ウワー!

こまったなあ……どうやってたすけだそうかな

そうだいいことがあるぞ

ヨシ!!やってみよう

アラヨッー

クルトさん！まだどきませんか？
!?

ありがたやかたじけなや

うまくでられましたね
ワハハハハこれとゆうのも、わがはいがあわてなかったからじゃ

だがハニイくん！きみはわがはいをたすけてくれた恩人…いや恩虫だ

またいつかあうときもあるじゃろそのときはきっと、この恩がえしをするよサヨナラハニイくん

ジャブ

雨はまだやまないや
このままだと、家にかえれないかもしれない

なんだかねむくなってきたぞ。アーア

グーグー

小さな密蜂はうつくしい夜を花の中ですごしたのでした。

やがて太陽が東の空にのぼってすがすがしい朝がやってきました。

アーアーオヤ朝までねむってしまったのかな……

朝だ!!
つゆがおひさまにひかってきれいだなあ……
さあみつをたくさんとってはやくかえろう

きのうかえらないから、おかあさんがしんぱいしているだろうなあ……
ヨイショ

ホワッ!
??

これはなんだ!! どうしたのだろう

だれじゃ朝っぱらからわたしの巣をこわしにきたのは!
アッ クモ!

おやっ これはこれはかわいい密蜂のおきゃくさんかね ヒッヒッヒ

なぜぼくをこんなめにあわせるの!

フフン あたしの巣にひっかかったのが運のつきさ…

そうれこうすればおまえさんも、あきらめがつくだろうよ
ウッ
サーッ
イヒヒどうだね密蜂さん
どれ日かげにいれといてあげようかネひからびちゃおいしくなくなるってことだよ……
ウーンざんねんだ
そこでゆっくりじめんでもながめておいで
おしまいにいっておいてやるがネあたしゃ女郎ぐものテクラというのさ
なんとかならないかなあ
そうなってからなんといったってもうだめだよヘヘヘあきらめるんだね
どうせあたしの朝ごはんになるんだからね
やっぱりきのう雨がふっても家にかえったほうがよかったのかなあ
道をあけろ!!
オヤあのこえは……かぶと虫のクルトさんだ!!

クルトさまのおとおりだ!! どかないやつはけっとばすぞ!
ボキ
道をあけ…!?!!
クルトさん!
フアおどろいたきのうの密蜂くんじゃないかハハアくもにつかまったんだね。
そうなんですクルトさんだすけてくださいよう
そろそろ朝のごちそうをいただきましょうかね
アラマ!?
まてーッ ごちそうドロボーッ!
な、なんたってあたしのたべものを、よこどりするんだい
でたな虫ころしババア!
わがはいの恩虫をたすけたまでのことだ
それのどこがわるいんだい
キーッ くやしい! こうしてやるワ
サー
ばかもの! おまえの糸ぐらいでまいるクルトさまかい

どうだ わがはいが おこったら つよいんだ ぞー！
あわてもののクルトさんも いざとなると すごいんだな あ……
キュー!!
く、くるしい いきがつまる たすけてエ

おまえも すこしは ぶらさげられる者の気持をあじわってみろ

トホホ なさけないことになったわい なアー

これで すこしは こりたじゃろう
クルトさんは ほんとうに つよいんです ねえ

ワハハ なんの なんの
まあこれで 恩がえしができてよかった

では きおつけて いくのじゃよ サヨナラ
ありがとう クルトさん

ゆかいだなあクルトさんは……

ひどいめにあった。おかげでほうこうがさっぱりわからなくなったぞ

こまったなあ
アッ

クマーバチ城だ！

えらいところへきてしまったぞ みっかったら、たいへんだ

キャッ

ウ〜〜ン

オヤッ ここはどこだろう

しまった！ぼくは、クマンバチのとりこになったらしいぞ

こまったどこかににげみちはないかなあ
ヤッこんなところにすきまがあるぞ！

ヤヤッ クマンバチがなにかそうだんをしているぞ

よいかみなのものヨークきくんだぞー

あすの朝われわれは野原のぼだいじゅにある密蜂のしろをおそうのじゃよいか

たいへんだみんながまだねむっているうちに、クマンバチにせめられるんだ

はやくこのことを、しらせなければとんでもないことになってしまうぞ

ハニイが、にげだすことに苦心しているあいだにまた二どめの夜がやってきました……

しめたっ ついに あながあいたぞ!

このへやさえでれば、なれんとかなるぞ

ハッ!

グ〜〜
グ〜〜
ムニャ
ムニャ
!!

しめ
しめ

でてしまったらこっちのものだ
おひさまがのぼるまえにうちにかえらなければ

なん時間も密蜂は全速力でとびつづけました。しかし……東の空はしだいにあかるくなってゆきます。朝です。朝がやってきたのです!!

たいへんです とおしてください!
まて はいりたければ・あいことばをいえ!

エリカの花とボタイジュの花
よし ここのものだ 朝から、あわててどうしたんだ

もうすぐクマンバチがせめてきます。
なにっ! クマンバチだって!

それはたいへんだ おれは女王さまにしらせてくる。おまえは集合ラッパをふけ
ハッ!

トテトテタ〜
戦争だ戦争だ
あつまれエー

クマンバチはわれわれをふいうちしようとしている

わが軍は全力をあげて、このしろをまもらねばならぬ

よいか 蜜蜂はまだねむっているぞ!! いまのうちに、やっつけるのだ!

まさかこんな朝っぱらからこうげきするとはおもうまい
そうですともみんなよいきもちでねてますよ

よし こうげき
ハヅメエ!

ススメーッ
ものども！
オーウ
クマンバチだ！
よしきてみろ！
女王室
クマンバチの　ことをしらせてくれたのはあなたですかハニイ
ハイ女王さま
二日もかえらなくてごめんなさい。
いいえおかげで蜜蜂の国がたすかったのですよ
女王さまいよいよたたかいが、はじまります
！……
もっとおはなししたいけどいまはそんなひまはありません

しめしめ
蜜蜂はまだねむっているぞ
ものおと一つなし
ヒヒイ これはおもしろいぞ
きたっ!
シーッ
うんとおびきよせてとびかかるのだ
とつげき!
ウワーァ
シマッタァ
はかられたか
さあこい
ガキッ
ボッ
ワーッ!!
ギュウ

蜜蜂のこわっぱどもたばになってかかってこい
ウワァ はなばなしいたたかいだね
?
フア!

はかーっ だれがにげてこいといった!
しかし女王さま はやくにげないと、おっかけてきますぞ
ギリギリ かくたる うえは うしろに すすめーっ
ギリギリ
ウワーッ
チョロ
たたかいは おわった
おかあさん はどうして いるだろう
もしかしたら……
ハニイ
アッ おかあさん
すこしの あいだに りっぱに なったね ホホホ
そうですかあ

それから平和のおとずれた毎日毎日を蜜蜂のハニイは花から花へといそがしくとびまわっておりました。

THE. END

初版復刻　日本名作漫画館〔SF編〕
第二部　③蜜蜂の冒険
昭和五十六年八月二十八日　発行

著者　松本零士
発行者　西澤楯雄
発行所　名著刊行会
〒165　東京都中野区松ケ丘一－三－七
電話　〇三（三八六）六四四一代表
振替番号　東京　一－六五〇八四

印刷　モリモト印刷株式会社
製本　今泉誠文社

0071－000195－8312　　1981 Printed in Japan